

## 再評価時再評価結果(平成29年度)

担当課 : 砂防防災課  
 担当課長名 : 金山 壮一郎

### 事業の概要

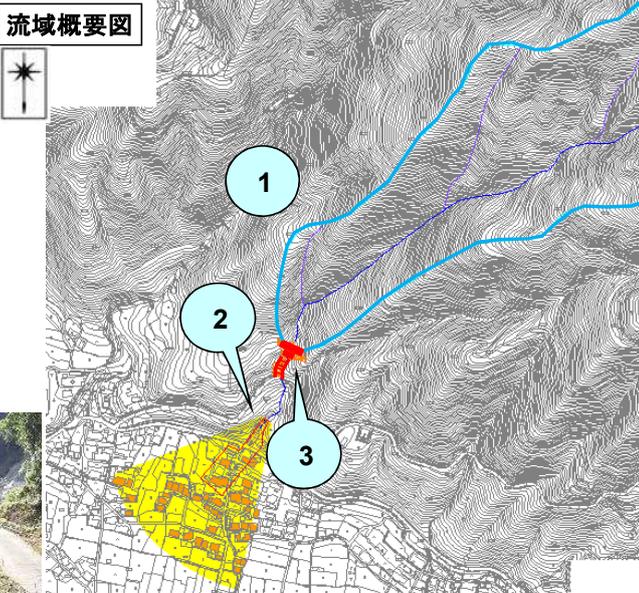
事業名	通常砂防事業	事業区分	通常砂防事業	事業主体	徳島県
事業箇所	徳島県三好郡東みよし町加茂字山根	箇所名	赤ハデ谷		
事業概要	砂防堰堤1基(H=14.0m L=54.6m V=2,867m <sup>3</sup> ), 溪流保全工 L=46.6m				
事業の目的・必要性	本溪流の上流部は荒廃が進行しており、出水時に土石流が発生すると下流の人家や道路等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。 当地区内には、人家39戸や町道があり、地域住民の人命や財産を守るため、平成25年度より通常砂防事業に着手した。				
総事業費	250 百万円			進捗率	57%

#### 位置図 計画概要図



**赤ハデ谷通常砂防事業**

#### 流域概要図



#### ①赤ハデ谷(全景)



#### ②保全対象(家屋等)



#### 凡例

- 砂防堰堤(予定)
- ▨ 砂防堰堤(予定)

#### ③整備状況(堰堤)



### 事業評価結果

事業全体の投資効率性	基準年度	B/C	残事業B/C	総費用		総便益	
	平成29年度	8.7	18.2	280百万円	工事費・用地補償費 等	2,428百万円	人家39戸、道路
事業の効果等	・保全対象の人家39戸とその住民の人命と財産を保全する。(一般資産被害軽減効果・人的被害軽減効果)						
社会経済情勢等の変化	当事業では土地利用や保全対象に大きな変化は無い。 H26.8月の広島豪雨災害やH29.7月の九州北部豪雨災害により土砂災害に対する防災意識が一層高まっており、当事業の実施においては土砂災害に対して家屋を保全するなど、防災面の向上に寄与している。						
事業の進捗状況	砂防堰堤を整備中である。 現在の進捗率は事業費ベースで57%である。						
感度分析	感度分析の結果においても事業の効果は確保されている。 事業費+10%:7.9, 事業費-10%:9.6, 工期+10%:8.7, 工期-10%:8.6, 資産+10%:9.5, 資産-10%:7.8 残事業費+10%:16.7, 残事業費-10%:20.1, 残工期+10%:18.3, 残工期-10%:18.0, 残資産+10%:20.0, 残資産-10%:16.4						
事業進捗の見込み	平成31年度の完成を目指し、事業進捗を図る。						
対応方針	継続						
対応方針理由	地元からの要望も高く、保全対象も変わっていないことから総合的に判断した。						

※総費用、総便益は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

### 継続の理由

想定される被害や社会的影響も大きく、事業の効果は高い。  
 既に用地取得も済んでおり、砂防堰堤工事を実施中で、事業進捗に向けての隘路も無い。  
 これらの状況を総合的に判断し、通常砂防事業を継続する。